

第5回菊川市子ども・若者参画協議会について

令和7年3月18日

1 今回の会議の目標

- (1) 令和7年度に取り組んだ事業の実績について確認する。
- (2) 子ども・若者参画支援交付金制度の愛称を決める。

2 議事の内容

(1) 菊川市子ども・わかもの参画宣言に込められた「思い」を「形」にするための取り組みについて

①子ども・若者参画支援交付金制度

今年度から始まった「子ども・若者参画支援交付金」について、下記のとおり6団体から申請がありました。きくがわナイトについては活動が実施できなくなったため、残念ながら取下げとなりました。残りの5団体については活動が行われ、3月15日（土）に活動報告をしてもらいました。

令和7年度は、1%地域づくり活動交付金制度にある学生部門を子ども・若者参画支援交付金に移し、交付金額の上限を5万円から10万円に増額する予定です。

概要：若者団体やグループが、菊川市内で自発的かつ主体的に取り組む地域づくり活動（地域の活性化、賑わいの創出、地域課題の解決を目的とする活動）について、1団体あたり5万円を上限に交付する。

募集期間：令和6年7月1日～令和6年10月31日まで

申請件数：6件 交付決定件数：6件（※取下げ1件）

No	団体名	代表者名	活動概要	交付決定額
1	わお	戸塚俊作	子どもひろばの開催	50,000円
2	キクスアート	高橋一太	抛展（美術展）の開催	50,000円
3	きくがわナイト ※	宿輪篤史	若者交流イベントの開催	50,000円
4	きくがわ発掘隊	石上すみれ	若者情報発信冊子の作成	50,000円
5	「青春を取り戻す」委員会	太田茉里愛	体育祭の開催	50,000円
6	菊川社	宮城島千也	地域の魅力を発信する映像コンテンツの制作	50,000円

②子ども・若者から意見等を聴取する仕組み

オンラインプラットフォームの導入について、R7年度から静岡県が導入した「こえのもりしずおか」の共同利用が始まります。菊川市もこれに参加するため、R7年度予算確保などの準備を進めています。

子ども・若者が「こえのもりしずおか」を利用するには、ハンドルネームと住んでいる市町の登録が必要です。登録すると、静岡県と住んでいる市町からの質問が届くので、自由に意見を投稿してください。

【令和6年度の動き】

- 4～8月 全ての子ども・若者から意見を聴取する手段の1つとして、オンラインプラットフォームの導入について検討
- 9月 静岡県から「こえのもりしずおか」の共同利用について、参加を希望するか調査あり → 希望するで回答
- 10～1月 県から示された負担金額を、令和7年度予算として要望
- 2月 市内小中学校長会にて「こえのもりしずおか」について説明
- 3月 菊川市議会で令和7年度予算案を審議中
市内公立小中学校の全生徒へチラシを配布
- 4月以降 令和7年度から県と市町の共同利用開始予定

③子ども・若者の活動を支援する体制

子ども・若者支援事業を推進するために、子どもたちに寄り添い、成長や活動等を支えるユースワーカーが必要となります。これまで協働センター職員が対応してきましたが、若者団体も増えてきていますので、子ども・若者支援を専門に行う人材の確保をするため、地域おこし協力隊制度を使って募集します。

令和7年度上半期で募集を行い、9月の就任を目指して準備を進めていきます。

【地域おこし協力隊】

都市部（東京圏や政令指定都市など）から地方の市町村に住民票を異動して、地域おこし支援や、農林水産業への従事、住民支援などの「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る取組です。隊員は各市町村からの委嘱を受けて、任期は概ね1年以上3年以下です。

菊川市では、令和7年度に2人の協力隊員を募集します。

・若者のまちづくりの促進（地域支援課）

→子ども・若者に寄り添い、活動等を支援し、成長を支える専門家であるユースワーカーを募集して、子ども・若者を含めた多様な主体による協働のまちづくりの更なる発展を目指します。

・知名度向上・関係人口拡大（市長公室）

→菊川市の美しい自然や食・人・コトの魅力を発信してもらい、都市部での知名度アップし、交流人口、関係人口、定住人口へつなげます。

(2) グループワーク

テーマ：こども・若者参画支援交付金制度の愛称を考えよう

今年度から始まった「こども・若者参画支援交付金」ですが、高校生や大学生など若者向けの制度になるので、愛称があった方がPRしやすいと考えています。令和7年度の募集から使いたいと思いますので、皆さんからのアイデアをお願いします。

【募集要領の中のキーワード】

- ・地域づくり活動にチャレンジ
- ・にぎやかなまち、楽しいまち、夢のあるまち、やりたいことができるまち
- ・菊川に対する想いや若者ならではのアイデア
- ・地域づくり活動＝①地域の活性化、②賑わいの創出、③地域課題の解決
- ・こども・若者が自発的かつ主体的に取り組む